

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3000				3.利用用途別分類	集会施設					
2.施設名	宮崎市民プラザ				4.利用圏域別分類	広域・市域					
5.所在地(町名・番地)	橘通西一丁目1-2				15.設置根拠法令						
6.バス停	橘通り1丁目(180m)				16.設置条例	宮崎市民プラザ条例					
7.開設年月日	平成12年8月1日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人 宮崎文化振興協会)				18. 外観						
9.指定管理期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日										
10.用途地域	商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	もっとも使いやすい規模とされる500席の劇場型多目的ホール、各種展示イベントや集会に利用できるギャラリーを備え、市民の文化芸術活動やボランティアをはじめとする市民活動などの拠点として設置した。また3階には、ボランティア活動等の公益的な市民活動を総合的に支援するため、活動が行われやすい環境の拠点施設として市民活動センターを設置している。				19. 内部						
											
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等				20.避難所の指定(標高)	— 6.10 m					
14.利用者駐車可能台数	118台				21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	2,819.47 m ²				24. 建物情報	総延床面積	12,467.39 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	5281172千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上5階 地下1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2000年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	248,062	99.3	249,913	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	359	100.0	359	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率率	691	99.3	696	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	38,944	103.2	37,752	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	22,790	84.1	27,106	—
	使用料(減免後)②	38,634	103.1	37,462	—		施設のコスト	16,790	77.6	21,631	—
	その他③	310	106.9	290	—		事業のコスト	0	0.0	1,725	—
	《参考》 使用料減免額④	19,247	102.7	18,737	—		人に係るコスト	6,000	160.0	3,750	—
	指定管理者の収入計⑤	222,070	99.1	224,082	—		指定管理者の支出計⑨	216,363	100.3	215,804	—
	指定管理料⑥	209,817	100.1	209,690	—		施設のコスト	109,245	100.9	108,238	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	17,496	111.9	15,629	—
	自主事業収入	5,560	73.9	7,528	—		自主事業のコスト	7,738	76.3	10,137	—
その他収入	6,693	97.5	6,864	—	人に係るコスト	81,884	100.1	81,800	—		
収入合計⑦	261,014	99.7	261,834	—	支出合計⑩	239,153	98.5	242,910	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	33	99.7	33	—	28.工事請負費・修繕費	15,152	71.1	21,297	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	51,197	98.2	52,144	—	31. 市負担	193,663	97.3	199,044	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	5,707	68.9	8,278	—	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	81	98.8	82	—		
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)						
32.施設所管課	文化・市民活動課				33.施設主管課	文化・市民活動課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3000	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	宮崎市民プラザ	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		56.3		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.1		
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	16.000 年	58.2	25.800 年
		劣化度点数(棟平均)	0.500 件	57.0	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
		評価値	56.3		
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	691.000 人	55.6	508.000 人
		稼働率	74.600 %	62.2	49.500 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.055 人	55.6	0.053 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.281	56.6	0.973
		評価値	57.5		
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		市負担割合	80.980 %	54.9	85.930 %
		市負担額(ソフト)前年度比	100.400 %	57.6	170.367 %
		建物1㎡当たりの市負担額	15.534 千円	57.0	24.592 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.781 千円	57.0	1.568 千円
		評価値	56.6		
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3000	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民プラザ	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質・供給・財務とも総合的には平均点以上となっており、良好な評価となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	市の中心部に位置し、市民が主宰する文化芸術団体にも使いやすい500席の劇場型多目的ホールを有し、市民の文化芸術活動の拠点となっている。また、市民の誰もが気軽に「集い」「学び」「交流」できることを目的に設置されており、「学習室」や「会議室」「ギャラリー」等のほか、施設3階には「市民活動センター」を併設し、市民の福祉活動や生涯学習の拠点にもなっている。このように、文化芸術活動と市民活動の拠点施設が1施設に統合された施設は県内において、他にない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	橋公園、本庁舎、第2庁舎、第3庁舎、職員専用立体駐車場、会議室棟・書庫棟、駐車場警備員控室、宮崎市消防団第2部消防団車庫、上野町駐車場、みやざきアートセンター、一番街第1自転車駐車場、宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・YPARK)、別府街区公園、別府街区公園トイレ、宮崎市消防団中央分団第3部消防団車庫、千草街区公園、宮崎市自動車排出ガス測定局高千穂通測定局ほか17施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市民文化ホール、宮崎市いっぷくコーナー、宮崎市男女共同参画センター	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)、宮日会館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	宮崎市役所に隣接し、施設の前にバス停が設置されているなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】55.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	今回の総合評価に勘案すべき包括外部監査の結果は無い。 500席の劇場型多目的ホールのほか、学習室、会議室、ギャラリーを備えることで、文化公演だけでなく、多様な研修会や展示会等を開催できている。また、「市民活動センター」を併設していることで、市民の交流拠点になっている。なお、平成32年度には国民文化祭の宮崎県開催が決定しており、本市の各文化施設はその会場として活用される見込みとなっている。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	3000	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民プラザ	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能評価(案)は「継続」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点以上である。築15年を経過し、経年劣化等による不具合箇所が見られるが、必要に応じて修繕等を行うことで適切に管理されており、大規模改修の必要な箇所も見受けられない。年間利用者数も24万人以上を維持しており、利用率も高いことから、今後も現サービスを継続することを前提に、建物を「継続」とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務とも平均点以上となっている。稼働率も高く(各室80～90%)、500席の劇場型多目的ホール、各種展示イベントや集會に利用できるギャラリーを備え、市民の文化芸術活動やボランティアをはじめとする市民活動等の拠点施設として有効に機能している。今後も、さらなる稼働率の向上や魅力的な事業の実施を図っていく。なお、市民の多種多様なニーズに応え、施設を安心安全に管理運営していくために、現在の指定管理料は維持すべきである。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	平成30年度指定管理者公募分(平成31年度～平成35年度)において、経費や仕様の見直し等について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら、市負担額の削減を検討する。また、施設使用料及び減免基準の検討を進める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3000	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民プラザ	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能評価は「継続」とする。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点以上である。築15年を経過し、経年劣化等による不具合箇所が見られるが、必要に応じて修繕等を行うことで適切に管理されており、大規模改修の必要な箇所も見受けられない。年間利用者数も24万人以上を維持しており、利用率も高いことから、今後も現サービスを継続することを前提に、建物を「継続」とする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務とも平均点以上となっている。稼働率も高く(各室80～90%)、500席の劇場型多目的ホール、各種展示イベントや集会に利用できるギャラリーを備え、市民の文化芸術活動やボランティアをはじめとする市民活動等の拠点施設として有効に機能している。今後も、さらなる稼働率の向上や魅力的な事業の実施を図っていく。なお、市民の多種多様なニーズに応え、施設を安心安全に管理運営していくために、現在の指定管理料は維持すべきである。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	平成30年度指定管理者公募分(平成31年度～平成35年度)において、経費や仕様の見直し等について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら、市負担額の削減を検討する。また、施設使用料及び減免基準の検討を進める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。また、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	3060	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	宮崎市民文化ホール	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.所在地(町名・番地)	花山手東三丁目25-3	15.設置根拠法令				
6.バス停	福祉文化公園(160m)	16.設置条例	宮崎市福祉文化公園条例			
7.開設年月日	平成8年10月2日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する			
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(MSGグループ)	18. 外観	 			
9.指定管理期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日					
10.用途地域	第一種住居地域					
11.財産区分	公共用					
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	1867席の大ホール、300人を収容可能なイベントホール、防音機能を備えた練習室などを備え、宮崎を代表するホール施設として設置した。大ホールは、本格的な残響可変装置や多機能な舞台装置などを備え、クラシックやポピュラーなどのコンサートをはじめ、大規模な演劇や講演会などにも対応できる。				19. 内部	 
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等					
14.利用者駐車可能台数	261台					
20.避難所の指定(標高)	—	18.00 m				
21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	25,452.74 m ²				
	現況地目	宅地				
	土地所有形態	所有				
	借受面積	0.00 m ²				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	
	利用者数	279,032	95.4	292,587	—	
	開館日数	355	99.7	356	—	
	利用率率	786	95.6	822	—	
24. 建物情報	総延床面積	13,846.42 m ²				
	取得価額計(開始時簿価計)	7313305千円 (—)				
	階数・構造(主たる建物)	地上6階 地下1階・SRC・鉄骨鉄筋コンクリート				
	建築年(主たる建物)	1996年				
	法定点検(主たる建物)	対象				
	建物所有状況	市有物件				
	借受面積	0.00 m ²				
	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	未利用スペース	0 m ²				
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
千円			前年度比%	千円	前年度比%	
市の収入計① (②+③)		58,074	98.9	58,738	—	
使用料(減免後)②		56,160	98.8	56,822	—	
その他③		1,914	99.9	1,916	—	
《参考》 使用料減免額④		30,740	114.3	26,902	—	
指定管理者の収入計⑤		198,695	88.8	223,729	—	
指定管理料⑥		194,139	100.1	193,988	—	
利用料金収入		0	—	0	—	
自主事業収入		4,207	14.4	29,310	—	
その他収入	349	81.0	431	—		
収入合計⑦	256,769	90.9	282,467	—		
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	74,936	97.4	76,946	—	
	施設のコスト	72,686	97.3	74,696	—	
	事業のコスト	0	—	0	—	
	人に係るコスト	2,250	100.0	2,250	—	
	指定管理者の支出計⑨	199,688	89.3	223,548	—	
	施設のコスト	136,642	96.8	141,117	—	
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—	
	自主事業のコスト	5,294	18.1	29,213	—	
人に係るコスト	57,752	108.5	53,218	—		
支出合計⑩	274,624	91.4	300,494	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	35	110.1	32	—		
28.工事請負費・修繕費	54,472	77.3	70,465	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	62,630	70.8	88,479	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 993		△ 548.6			
	181	—	—	—		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	211,001				
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	77	108.8	71		
32.施設所管課	文化・市民活動課		33.施設主管課	文化・市民活動課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3060	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市民文化ホール	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		53.6				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.8				
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	20.000	年	54.9	25.800	年
		劣化度点数(棟平均)	0.500	件	57.0	1.900	件
		耐震対応(棟平均)	5.000	点	54.9	4.700	点
		クレーム点数	4.000	点	44.7	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	56.3	0.900	件
		評価値			53.6		
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	786.000	人	58.5	508.000	人
		稼働率	49.600	%	50.0	49.500	%
		建物1㎡当たりの利用量率	0.057	人	58.5	0.053	人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	1.322		57.5	0.973	
		評価値			56.1		
③財務評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	76.830	%	59.0	85.930	%
		市負担額(ソフト)前年度比	110.400	%	56.5	170.367	%
		建物1㎡当たりの市負担額	15.239	千円	57.2	24.592	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.756	千円	57.2	1.568	千円
		評価値			57.5		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2)施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3060	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民文化ホール	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	施設の特性等から、一部項目において平均点を下回るが、品質・供給・財務とも総合的には平均点以上となっており、良好な評価となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】駐車場が不足していることにより、駐車に関するトラブルの苦情が年に数件寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	県内最大の1,867席の劇場型多目的ホール、豊富な練習室を有し、市民の文化芸術活動の拠点となっている。また、広い会議室や300人を収容可能なイベントホールを有し、多様な目的で使用できることから、九州・全国規模での研修や会議でも用いられている。 このように、県内最大のホールと会議室等を有し、多様な目的で全国規模のイベントに使用できる施設は県内において、他にない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	りんどうヶ丘街区公園、宝塚2号街区公園、笹原街区公園、りんどうヶ丘2号街区公園、宝塚3号緑地広場、江南小学校(校舎・園舎)、児童クラブ(江南小学校)、江南小学校(給食室)、大坪1号街区公園、大坪2号街区公園、大坪3号街区公園、大坪4号街区公園、北川内運動場、大坪池公園、宮崎市総合福祉保健センター、宮崎市立図書館、大坪団地、宮崎市大淀公民館、宮崎市大淀地域事務所のほか6施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市民プラザ、宮崎市いっぷくコーナー、男女共同参画センター	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)、宮日会館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道269号線と県道9号線の交差する位置から北西に500m程度の位置にあり、本施設が設置されている福祉文化公園内にバス停留所がある。近隣に駅がないことから、自家用車での来場が多い。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】61.4億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	今回の総合評価に勘案すべき包括外部監査の結果は無い。本施設は福祉文化公園内の一施設で、市制70周年記念事業の一つとして設置されている。宮崎県立芸術劇場(管理料約3億6千万円、利用人数25万)と本施設(管理料約1億9千万円、利用人数27万)では管理料半額程度で同人数以上の実績をあげている。なお、平成32年度には国民文化祭の宮崎県開催が決定しており、本市の各文化施設はその会場として活用される見込みとなっている。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3060	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民文化ホール	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点以上である。築20年を経過し、経年劣化等による不具合箇所が見られるが、必要に応じて修繕等を行うことで適切に管理されており、大規模改修の必要な箇所も見受けられない。年間利用者数も27万人以上を維持しており、利用率も高いことから、今後も現サービスを継続することを前提に、建物を「継続」とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務とも平均点以上となっている。県内最大の1,867席の劇場型多目的ホール、300人を収容可能なイベントホールや会議室・練習室を備え、市民の文化芸術活動の中心施設として有効に機能している。今後も、さらなる稼働率の向上や魅力的な事業の実施を図っていく。なお、市民の多種多様なニーズに応え、施設を安心安全に管理運営していくために、現在の指定管理料は維持すべきである。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	平成30年度指定管理者公募分(平成31年度～平成35年度)において、経費や仕様の見直し等について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら、市負担額の削減を検討する。また、施設使用料及び減免基準の検討を進める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3060	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市民文化ホール	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点以上である。築20年を経過し、経年劣化等による不具合箇所が見られるが、必要に応じて修繕等を行うことで適切に管理されており、大規模改修の必要な箇所も見受けられない。年間利用者数も27万人以上を維持しており、利用率も高いことから、今後も現サービスを継続することを前提に、建物を「継続」とする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務とも平均点以上となっている。県内最大の1,867席の劇場型多目的ホール、300人を収容可能なイベントホールや会議室・練習室を備え、市民の文化芸術活動の中心施設として有効に機能している。今後も、さらなる稼働率の向上や魅力的な事業の実施を図っていく。なお、市民の多種多様なニーズに応え、施設を安心安全に管理運営していくために、現在の指定管理料は維持すべきである。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	平成30年度指定管理者公募分(平成31年度～平成35年度)において、経費や仕様の見直し等について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら、市負担額の削減を検討する。また、施設使用料及び減免基準の検討を進める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号		90610		3.利用用途別分類		集会施設																	
2.施設名		男女共同参画センター		4.利用圏域別分類		広域・市域																	
5.所在地(町名・番地)		宮崎駅東三丁目6-7		15.設置根拠法令																			
6.バス停		青葉町(40m)		16.設置条例		宮崎市男女共同参画社会づくり推進条例																	
7.開設年月日		平成27年12月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する																	
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(きらきら参画プロジェクト)		18. 外観																			
9.指定管理期間		平成27年12月1日～平成31年3月31日																					
10.用途地域		近隣商業地域																					
11.財産区分		公共用																					
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		市の男女共同参画社会の形成促進に関する施策を実施し、及び市民等が行う男女共同参画社会の形成に関する活動の支援する施設。		19. 内部																			
13.主な利用者		①講座等に参加する市民②貸し館利用をする団体等③ファミリーサポートセンターや子																					
14.利用者駐車可能台数		56台		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 0.00 m																	
22.土地情報		土地面積 3,511.95 m ²		21.投票所の指定		無																	
		現況地目 宅地		24.建物情報		総延床面積 998.53 m ²																	
		土地所有形態 所有				取得価額計(開始時簿価計) 227829千円 (－)																	
		借受面積 0.00 m ²				階数・構造(主たる建物) 地上1階・RC・鉄筋コンクリート造																	
						建築年(主たる建物) 1982年																	
23.利用情報		(区分・単位)		平成28年度決算		平成27年度決算																	
				人・食		前年比%		人・食		前年比%													
		利用者数		13,564		380.3		3,567		－													
		開館日数		294		306.3		96		－													
		利用率率		46		124.3		37		－													
25.収入		(区分・単位)		平成28年度決算		平成27年度決算		26.支出		(区分・単位)		平成28年度決算		平成27年度決算									
				千円		前年度比%				千円		前年度比%		千円		前年度比%							
		市の収入計① (②+③)		23		575.0				4		－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)		6,358		789.8		805		－	
		使用料(減免後)②		23		575.0				4		－		施設のコスト		4,108		7469.1		55		－	
		その他③		0		－				0		－		事業のコスト		0		－		0		－	
		《参考》 使用料減免額④		0		－				0		－		人に係るコスト		2,250		300.0		750		－	
		指定管理者の収入計⑤		38,893		318.8				12,200		－		指定管理者の支出計⑨		36,589		326.2		11,217		－	
		指定管理料⑥		36,604		300.0				12,200		－		施設のコスト		8,201		314.0		2,612		－	
		利用料金収入		0		－				0		－		自主事業以外のコスト		2,707		324.2		835		－	
		自主事業収入		2,283		－				0		－		自主事業のコスト		842		－		0		－	
その他収入		6		－		0		－		人に係るコスト		24,839		319.7		7,770		－					
収入合計⑦		38,916		318.9		12,204		－		支出合計⑩		42,947		357.2		12,022		－					
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		0		－		0		－		28.工事請負費・修繕費		3,899		－		0		－					
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)		2,312		57800.0		4		－		31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		42,939		330.3		13,001		－					
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		2,304		234.4		983		－		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		100		92.5		108		－					
32.施設所管課		文化・市民活動課		33.施設主管課		文化・市民活動課																	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90610	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	男女共同参画センター	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C			
	品質評価の評価(偏差値)	51.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	36.2			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	34.000 年	43.1	25.800 年
		劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
		評価値	51.7		
② 供給評価 利用率の評価がかなり低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	46.000 人	36.0	508.000 人
		稼働率	24.400 %	37.7	49.500 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.046 人	35.9	0.053 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	0.316	35.9	0.973
		評価値	36.4		
③ 財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.980 %	36.1	85.930 %
		市負担額(ソフト)前年度比	300.300 %	35.9	170.367 %
		建物1㎡当たりの市負担額	43.002 千円	35.9	24.592 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	3.166 千円	35.9	1.568 千円
		評価値	36.0		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					
供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度
台帳番号	90610	利用用途別分類 集会施設
施設名	男女共同参画センター	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質・供給・財務全てが平均点以下である。特に供給・財務は低い。供給は利用者数が少ないことが原因であり、財務は複合的な機能を持たせたことによるものである。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指数】築年数【原因】築年数は34年であるが、大規模改修を平成27年度に実施している。【評価指数】クレーム点数【原因】ホールに空調がないとのクレームが寄せられる。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指数】日あたり利用者数【原因】平成27年12月の開館であり、周知が充分には図られていないと考える。【評価指数】稼働率【原因】利用が少ないことが原因だが、30分単位で時間貸しているため、空き時間が多くなる傾向がある。【評価指数】建物1㎡あたりの利用量率【原因】利用者数が少ないことが原因である。【評価指数】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が少ないことが原因であるが、ファミリーサポートセンター分は利用者が来所しないため市負担額が増える傾向有。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指数】市負担割合【原因】施設使用料が無料であり、歳入の余地が無い。【評価指数】市負担額(ソフト)前年度比【原因】平成27年度が4ヶ月の稼働だったため。【評価指数】建物1㎡当たりの市負担額【原因】男女共同参画センターとファミリーサポートセンターの2つの機能を備えており、その分人件費がかかるため。【評価指数】利用量当たりの市負担額【原因】利用者数が少ないことが原因であるが、ファミリサポートセンター利用者は来所しないため、市負担額が増える傾向がある。
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に類似施設が点在している。特に宮崎県男女共同参画センターが県庁9号館内に設置されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	柳丸街区公園(ほか3箇所)、櫛小学校、櫛児童センター、中央体育館、宮崎中央公園、北消防署東分署、市中央公民館、宮崎東地区交流センター、宮崎科学技術館、老松団地
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市民プラザ、宮崎市民文化ホール、いっぷくコーナー
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	メディキット県民文化センター(県)、宮日会館
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	半径1キロ圏内にJR宮崎駅があり、施設付近には青葉町バス停も設置されており、交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】4.4億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	今回の総合評価に勘案すべき包括外部監査の結果は無い。 本施設は、平成27年に、宮崎市として初めて男女共同参画事業の拠点施設として整備されたため、市民への周知が行き届いていない。また、宮崎県男女共同参画センターも宮崎市に設置されており、事業の棲み分け等をする必要がある。

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	90610	利用用途別分類	集会施設
施設名	男女共同参画センター	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能評価(案)は「継続」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価は平均点未満である。築年数が34年を越えているが平成27年の大規模改修により、施設の機能は維持されている。また、供給・財務評価も平均点未満である。供給は利用者が少ないことが原因であり、今後いっそう周知を図り利用者を増やす。財務は、男女参画センター、ファミリーサポートセンター及び子育て支援センターの複合施設であることが原因で、市の負担額が相対的に大きくなるものであるため、根本的な解決は難しい。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	宮崎駅東地区は周辺にマンション等もあり、民間の需要が期待できる。立替の際には、民間のアイデアを活用し、民間との複合施設とすることにより、更新費用を削減できると考える。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	平成27年度に、働く婦人の家から男女共同参画センターに「変更」となった。数年は様子を見ることとする。また、施設内には、ファミリーサポートセンター及び子育て支援センターも設置されており、「統合・集約」はすでに行われている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設使用料については、平成26年度に設置条例を策定する段階で無料とした。無料である現状でも施設稼働率は高くないことから、有料化は難しいと考える。歳出の削減についてであるが、義務的経費(人件費や光熱水費等)の割合が高く、大きく削減できる余地が無い。業務の一部(市民サービス)を削減し、その分人件費を削減する方策しか考えられない。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	90610	利用用途別分類	集会施設
施設名	男女共同参画センター	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能評価は「継続」とする。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	品質評価は平均点未満である。築年数が34年を越えているが平成27年の大規模改修により、施設の機能は維持されている。また、供給・財務評価も平均点未満である。供給は利用者が少ないことが原因であり、今後いっそう周知を図り利用者を増やす。財務は、男女参画センター、ファミリーサポートセンター及び子育て支援センターの複合施設であることが原因で、市の負担額が相対的に大きくなるものであるため、根本的な解決は難しい。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	宮崎駅東地区は周辺にマンション等もあり、民間の需要が期待できる。立替の際には、民間のアイデアを活用し、民間との複合施設とすることにより、更新費用を削減できると考える。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	平成27年度に、働く婦人の家から男女共同参画センターに「変更」となった。数年は様子を見ることとする。また、施設内には、ファミリーサポートセンター及び子育て支援センターも設置されており、「統合・集約」はすでに行われている。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	施設使用料については、平成26年度に設置条例を策定する段階で無料とした。無料である現状でも施設稼働率は高くないことから、有料化は難しいと考える。歳出の削減についてであるが、義務的経費(人件費や光熱水費等)の割合が高く、大きく削減できる余地が無い。業務の一部(市民サービス)を削減し、その分人件費を削減する方策しか考えられない。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、文化芸術活動及び市民活動の拠点となる施設であることから、長寿命化を進めるとともに、稼働率の向上に取り組む。また、使用料の適正化に取り組む。	